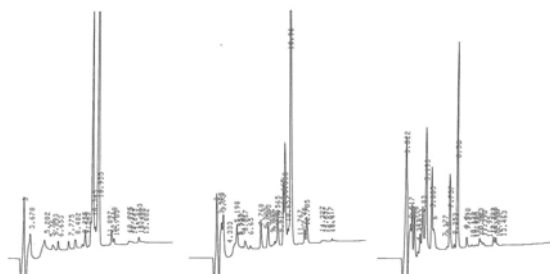


## 酸化インスリン B 鎖分解様式比較

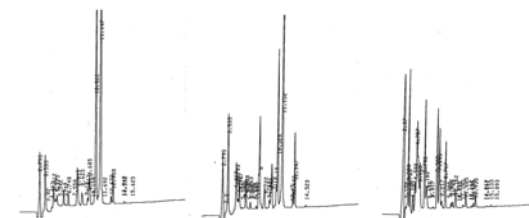
精製ナットウキナーゼ、当社原料「納豆菌培養エキス NSK-SD」及び、ナットウキナーゼを標榜する酵素の酸化インスリン B 鎖分解様式を下図に示しています。

検体中に含まれる酵素がナットウキナーゼでない場合は、一次反応（10 min 及び 30 min）の段階で分解様式が異なることが確認できます。また、ナットウキナーゼとその他のプロテアーゼが混在している場合若しくは、ナットウキナーゼと基質特異性が近い酵素であった場合は、二次反応（18 hr）での分解様式が異なり鑑別が可能となります。活性測定により残存活性を確認後、直ちに本法に着手すれば、2 日間で全ての結果が得られます。短時間で簡易に鑑別可能です。

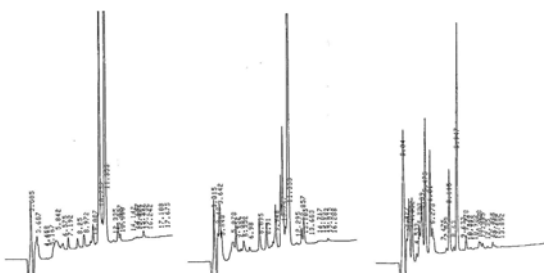
精製ナットウキナーゼ



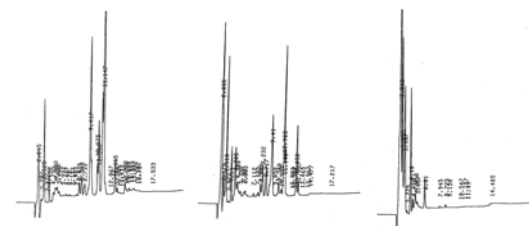
A社原料(韓国)



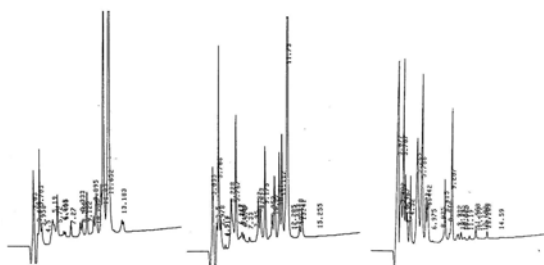
当社原料(NSK-SD)



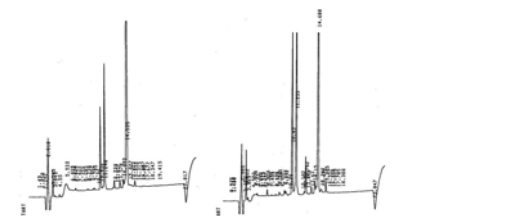
N社原料(USA)



Z社原料(台湾)



D社原料(日本)



10 min

30 min

18 hr

10 min

30 min

18 hr

